



JCAE APPROVED

NO. 200-002 DATE 51-9-10 (SUPERSEDES NO.)
 REV. DATE (SUPERSEDES NO.)
 REASON

1. 標 題 : ウッド・ワード製プロペラ・ガバナーの取付について
2. 適用機体 : FA-200-180の機体全機(-180A0を除く)
3. 適用度 : 任意事項
4. 目 的 : ウッド・ワード製プロペラ・ガバナー(P/N B210452)をFA-200に取付る場合のアーム位置修正量及びその修正作業手順を明確にし、併せて角度修正後のガバナーについて予備品証明を取得する際の根拠資料とする。
5. 実施時期 : 新品ガバナーの機体取付時
(既に取り付済のガバナーは実施の必要は無い)
6. 承 認 : 航空局承認対象外
7. 所要部品 : なし
8. 特殊工具 : なし
9. 重量重心 : 不変
10. 作業手順 : 新品ガバナーのスピード・コントロール・アーム位置は図-1の通りであり、“Body”に刻まれている角度目盛とハイスピード・ストップ取付部との関係位置は約0°~350°の位置である。
 FA-200の機体で使用する場合は約305°~315°が適当であり(図-2, 図-3参照)、以下その角度修正手順について記す。
 - (1) ガバナーを垂直に保持し、ガバナー・カバー取付スクリュー6本を平均に弛めながら取外す。
 - (2) ガasketが完全にカバーから離れている事を確認する。
(孔確認のためガasketは必ずBody側に残す。)

AIRCRAFT DIVISION

680 NISHIHARACHO UTSUNOMIYA TOCHIGI JAPAN 〒320
 TEL 0286 (58) 1111 TELEX 720 3522 176

TECHNICAL BULLETIN 200-002

PAGE 1 OF 3

- (3) カバーを静かに回転させ、ハイスピード・ストップ取付部の位置が Body 角度目盛 305 ~ 315° になるようセットする。(図-2)

注： カバー取付スクリユ 6 本を取外した時、カバーとボディの間隙は 1.0 ~ 1.5 mm 生ずるのが正常です。多い時はスプリングの引掛り等があると考えられます。

- (4) カバーを Body 取付孔に合せブラケットを取付、安全線を実施する。(ブラケット取付位置は図-2参照)

- (5) 機能確認を次の要領で実施する。

- (イ) サービス・マニュアル項目 5-5-2 によりガバナーを E/G に取付ける。
- (ロ) 正規暖気運転後、サービス・マニュアル項目 5-5-5 により機能確認実施する。
- (ハ) 上記確認後、スロットル全開、ピッチレバー“増”一杯で地上最大回転が規定内に入るか確認する。

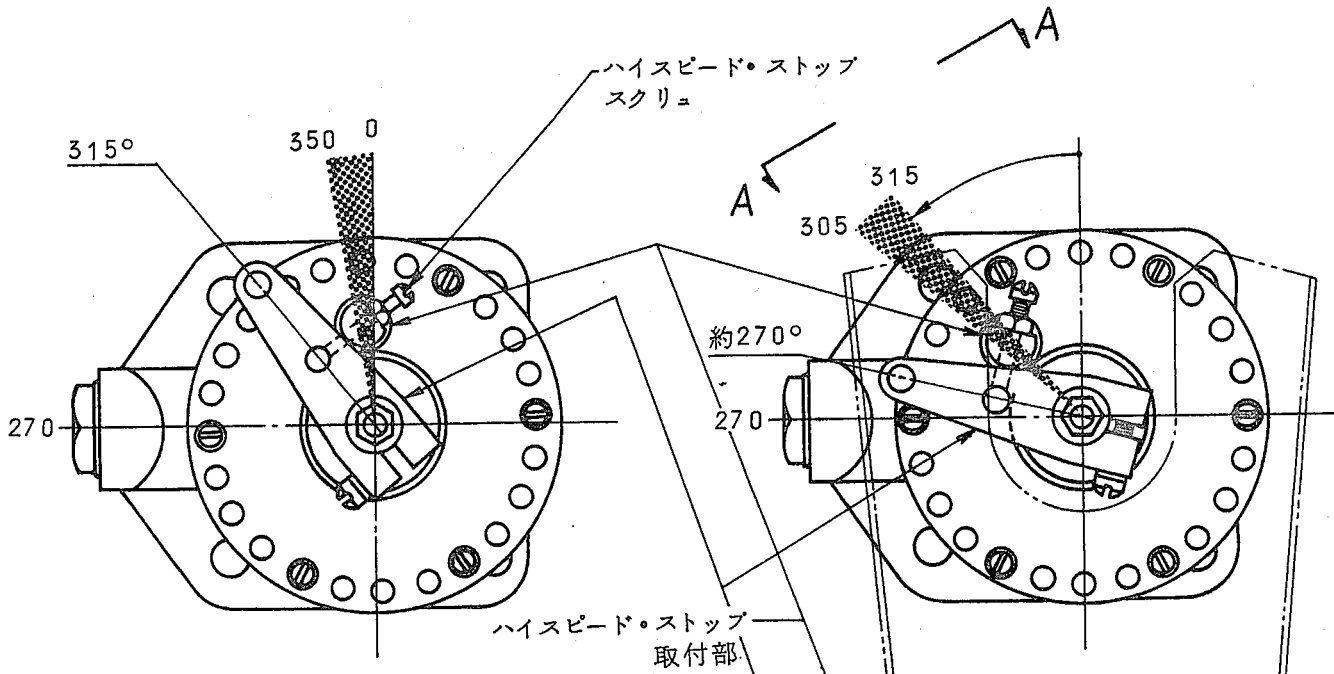


図-1
新品時のハイスピード・ストップ取付部位置

図-2 (BRACKET)
FA-200機体装着時
ハイスピード・ストップ取付部位置

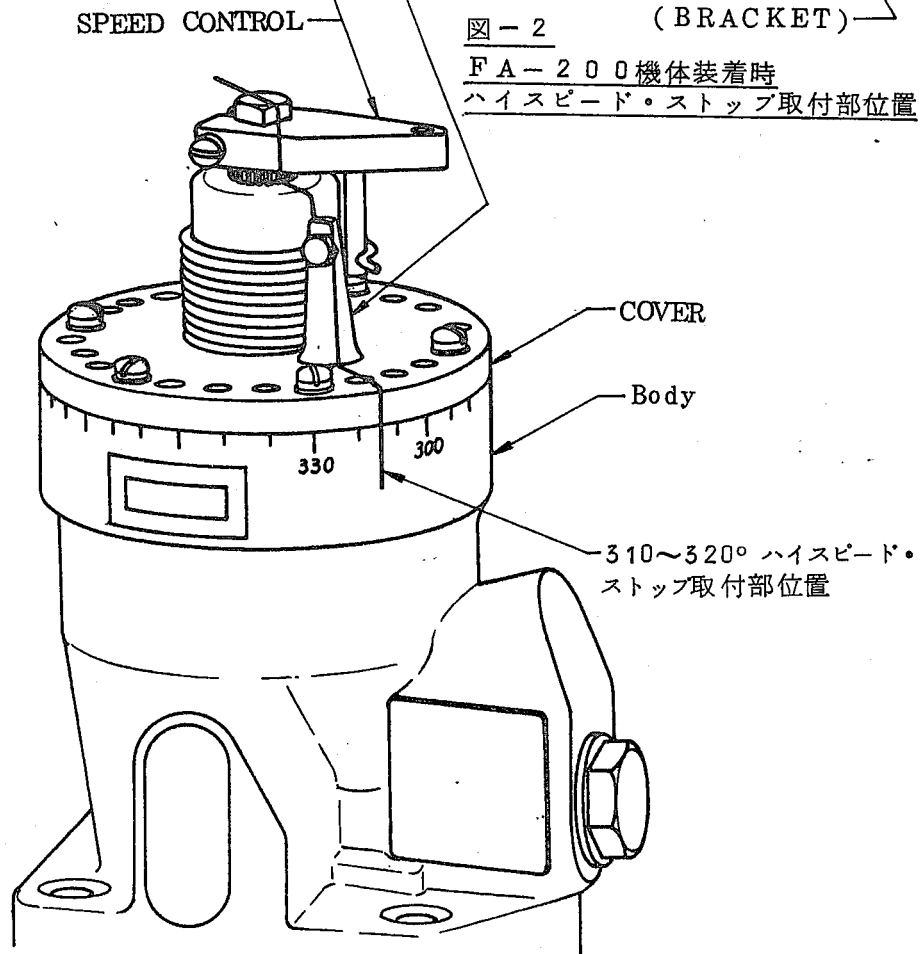


図-3 矢視 A-A ハイスピード・ストップ取付部